



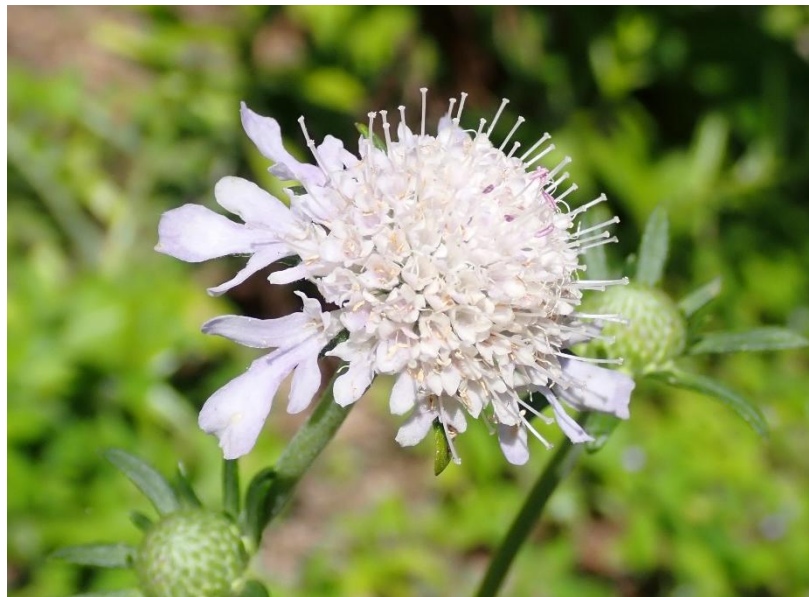
1位 パンパスグラス



2位 ヤブミョウガ



3位 ヒョウタンほか



トピックス ソナレマツムシソウ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1080号 2026年9月3日 次号予定10/1



カラー版はこちらから

実りの秋到来！園内各地で生っているいろんな実を見つけよう！



今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 パンパスグラス 白い穂の雌株と茶色がかった穂の雄株がダイナミックです！

2位 ヤブミョウガ 紺色に色づいた果実が艶めいています。果実と花の両方をご覧ください。

3位 野菜いろいろ ゴマ、カボチャ、トマトなど野菜の花や果実、ヒョウタンの実がたくさんぶら下がっている様子などもご覧ください。



じゅもーく先生トピックス

★ソナレマツムシソウ

Scabiosa japonica f. littoralis マツムシソウ科

2003年に伊豆須崎から数株と種子を採集して植物園に導入しました。自生地では絶滅寸前の危機的状況となっていますが、当園では種子繁殖株を定植し、数万株の大群落ができています。毎年花が咲いて種子ができ、新しい株が育つという自然な形で増殖を繰り返していますので、定着したと言えるでしょう。この種類はマツムシソウに比べて葉が厚く、花茎があまり伸びないのが特徴です。また、マツムシソウが開花したのち枯れる越年草であるのに対し、土壌条件にもよりますが、花が咲いても枯れずに残る(多年草)のも特徴です。これらの点から当植物研究部の研究員が品種から変種へ組み替えました。

国立科学博物館 名誉研究員 松本定

① セコイアの切り株 伐採したセコイアの切り株の側面からたくさんのひこばえが出ています。

② サルスベリ 園路から見上げると鮮やかなピンク色の花がご覧いただけます。

③ カンカケイニラ[EN] (寒霞溪菰) 淡いピンク色の小さい花が丸くぼんぼりのように集まって咲いています。

④ キウイフルーツ おいしいそうな実がなっています。

⑤ コシガヤホシクサ[EW] 「越谷星草」の名の通り、花は星の形をしていてかわいいです。

⑥ コガマ こんがり焼けたような茶色の穂が並んでいます。

⑦ サイカチ 見上げると大きなサヤがゆらゆら揺れています。

⑧ カリガネソウ 個性的な花のつくり。つぼみも可愛らしいです。

⑨ ナンバンギセル ススキの根元でひっそりと咲いています。

⑩ コムラサキ びっしりついた果実が枝をしならせています。

⑪ タヌキマメ 開花は正午ごろから夕方まで。可愛らしい花をぜひご覧ください！

⑫ マユミ 緑色の面白い形の実がなっています。

植物園フェスタ

大集合！

いろんなイモ

9.19(土) - 9.27(日)

会期中無休

- A サバンナ温室
- B 熱帯雨林温室
- C 水生植物温室
- D 熱帯資源植物温室



見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラー体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbq.kahaku.go.jp/>



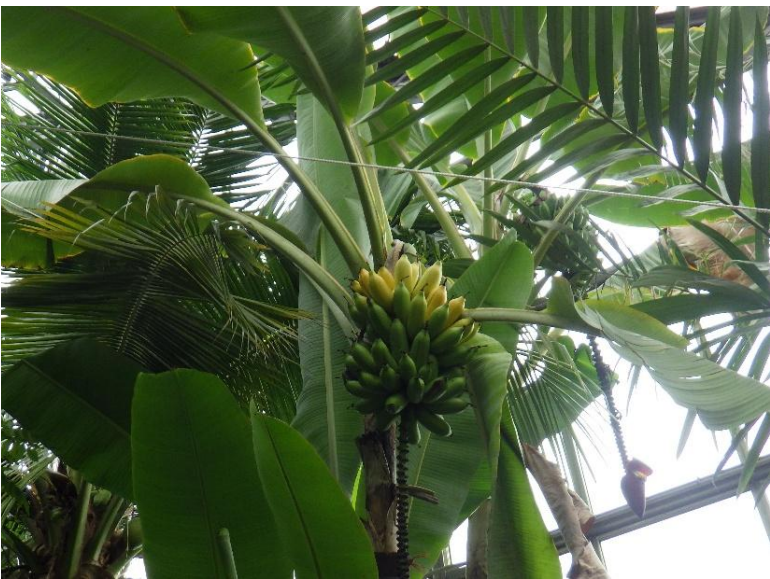
1位 ダシリリオン・ウィーレリ



2位 食虫植物コーナー



3位 バニラ・ボルニエンシス



トピックス バナナ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1080号 2026年9月3日 次号予定10/1

今週のベスト3！

黄色い札が目印です

1位 ダシリリオン・ウィーレリ 雌株の花茎が天井まで伸びています。当園での開花は2009、2015、2019年に続いて4回目です。

2位 食虫植物コーナー ネペンテス、ハエトリソウ、ムシトリスミレ、ウサギゴケなど、さまざまな食虫植物が見られます。

3位 バニラ・プラニフォリア、バニラ・ボルニエンシス インゲンマメのような長い実をたくさんつけています。



じゅもーく先生トピックス

★バナナ

Musa spp. バショウ科

温室でバナナを見つけたら、ぜひ花も探して見てほしい。バナナができている茎(花序と呼ぶ)を先の方へとたどると、筆のような格好をした部分がある。そこに花がある。紫がかった葉(苞とよぶ)が運良く開いていると、その内側の根元に小さな花が並んでいるのが見える。近くの地面に黄色や白い花、苞が落ちていることもある。バナナの花序では、雌花が数回咲いた後で雄花が咲く。雌花だけにバナナができるので、長くのびた花序の基部にだけバナナができる。雌花も雄花も大量に蜜を出す。雌花のほうが多くしたたるほどである。落ちている花もべたべたする。蜜はねっとりとして非常に甘い。昼間はアリなどいろいろな昆虫が訪れるが、花粉を運ぶのは主にコウモリである。苞にとまって蜜を吸うため、自生地では苞にコウモリの爪痕がついているそう。バナナの野生種は世界でおよそ70種が知られるが、花序が立ち上がる種類は鳥が、花序が垂れ下がったり、横向きに伸びる種類はコウモリが主に花粉を運ぶと考えられている。バナナの野生種は受粉しないと十分バナナが育たず、受粉して育ったバナナは中に黒い種子が多数あり、食べられる部分がほとんどない。しかしバナナの栽培品種は、受粉せずともバナナが育ち、バナナの中に種子ができないものを野生種から選び抜いたものである。植物園ではバナナの野生種(トラフバショウやリュウキュウイトバショウなど)と栽培品種(アカバナナ、キングバナナ、サンジャクバナナなど)の両方が見られる。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 堤千絵

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



- ① コノフィツム・ペルシダム 小石のような葉っぱの間から小さい花が顔をのぞかせています。
- ② エウフォルビア各種 サバンナ温室はエウフォルビアが花盛り♪それぞれが個性的で見飽きることがありません。
- ③ ナガバノゴレンシ 明るい緑色の、ししとうのような実が房になって幹についています。
- ④ カカオ 幹からかわいい花が咲いています。
- ⑤ グロツバ・シェルウッドiana 白色の苞と黄色の花のコントラストがとても美しいです。
- ⑥ アクリオプシス・リリフォリア 小さな可愛い花がたくさん咲いています。つぼみもいっぱい！